

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第67号 2013年2月1日発行

やまと
さんぽ



桜ヶ丘駅より西へ徒歩15分ほどの引地川沿い千本桜のあたりにスイセンが群生し、桜・春を呼び込むようだ。大和市内水辺の所々で見ることができる。

2013
2
月号



絵・「雲の上の世界」田丸好香(このか)(深見小3年)

田丸好香さんからのメッセージ

雲の上に世界があったら、どんな感じかな？
ふわふわしていて、楽しいだろうな。雲の上
の世界で雲の実を食べてみたい♡

やまと国際フレンドクラブ(IFC)主催

『第5回やまと国際アートフェスタ』入賞作品

IFC 賞・3回シリーズ(その2)



大和市民活動センターは市と市民活動団体[拠点やまと]とによる協働事業として運営されています。今後も安定的・継続的な運営ができるよう県内7ヶ所の市民活動センターの運営方法を7月から12月にかけて訪問調査し、当月の拠点やまと会議で調査内容を報告・共有してきました。

先般、調査結果をもとに分析し、今後の方向性をまとめました。

平成25年度のシミュレーションを通して、大和らしい運営のデザインをまとめていきます。

[拠点やまと]会長 関根孝子

<送付の際、同封のご案内>

・第57回連続共育セミナー・NPO会計「活動計算書」の作り方・3/19(火)開催

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

協働・補助金事業の今は…

●協働事業等提案制度で活躍している事業

現在、19事業が実施中。その内、2事業を紹介します。

文化創造に対する意識を高める

事業名：文化創造担い手育成事業

団体名：ドラマティックカンパニーYamato50

担当課：文化振興課



事業も二年目、順調です。デザインコンペは400点超えの応募、入選作は2月6日から10日までイオンホールで展示します。
(代表・星野俊江)

子育てモヤモヤ カフェで“快方”

事業名：みんなおいでよ！

ホッと+（プラス）かふえ

～カフェで始まる子どもと子育て応援事業～

団体名：NPO 法人ピコピコ

担当課：保育家庭課/こども・青少年課/青少年相談室



協働広報PRで、子育て世代の来場者がUP！ワークショップから様々な交流が活発に♪「みんなの声」を届けます！
(理事長・渡辺由美子)

4月から提案募集が始まります

- 市民活動推進補助金**は「何か社会に貢献できる活動を始めたい」、「今行っている活動の輪をもっと広げたい」、「新しい分野の活動を発展、充実させていきたい」などの市民活動を補助金を出して後押しするものです。
- 協働事業等提案制度**は「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいています。“新しい公共”とは、行政だけに公共をゆだねるのではなく、市民、市民団体、事業者、行政がもつ知恵やチカラを出し合いながら、地域の現場から公共的課題を発見し、共有し、解決していこうという考え方です。この“新しい公共”を創造するための手段のひとつが『協働事業等提案制度』です。市民、市民団体、事業者及び行政という異なる主体が、共通の課題解決に向けて、お互いの提案に基づき取り組むことで、より多様な価値観、住民ニーズに対応した公共サービスを提供することが可能となります。

「センター」は、みなさんを応援します。市民活動への想いを、実現してください。いっしょに考えましょう。

* 募集要項は4月に大和市HPなどで広報されます。

●市民活動推進補助金制度で活躍している事業

現在、6事業が実施中。その内、2事業を紹介します。

サポーターのフォローアップを継続

事業名：認知症サポートを広げるための広報事業

団体名：社会福祉士の会「やまと」

回想法とレクリエーションの講座を行いました。困った時に活用していただけの広報を作成中です。
(代表・山本容子)



生演奏の出前

事業名：お届け楽器探検隊

団体名：大和市芸術文化振興会

希望の会場に向かい、延べ120名に楽器体験や生演奏を聴いていただき、夢や感動を与えることができました。
(代表・小林三夫)



「大和市協働推進会議」の委員を2名募集中

主な活動内容は、市長の諮問に応じて、協働事業提案の調査審議を行い、その結果の報告を市長に行います。募集の概要、応募方法は大和市HPにあります。

活動をPRし、つなげましょう

市民活動課主催 ボランティア見学会のバスツアー

3月14日(木) 午後「センター」に来館します。

ボランティアに関わりたいと前向きな方々です。あなたの活動をPRして、お仲間をGETしましょう。

* 詳細は「あの手この手」次号で紹介いたします。ご検討ください

「センター」のある日ある時

1月28日(月) 晴れ

未明から降り出した雨が早朝、雪になった。

1/14(月・祝)大和では珍しい大雪があった。それに次いで今季2度目になる。1cmほど「センター」前の駐車場に積っていて、車輪の跡をくっきりと残していた。空はすでに晴れていた。これから、例年降雪がある時期になる。事故の無いように気を付けよう。

連続共育セミナー

テーマ:NPO 会計「活動計算書」の作り方
～活動の 整理整頓・次への準備

いたくらさちこ

お話: 税理士 板倉 幸子さん

NPO 法人 税理士による公益活動サポートセンター理事
一般社団法人 公益アシストかながわ 理事

と き: 3月19日(火) 18:30~20:30

と ころ: 大和市民活動センター



「活動計算書」で活動の把握を

年 1 回年度末の慣れない会計等活動の報告書作成は
手間取ります。昨年 4 月から「改正 NPO 法」が施行され
それに準じて提出書類を作成しなければなりません。
具体的に税理士から学びましょう。

* 別途、税務「無料相談会」3/28(木)15:00~17:00

場所: 大和市民活動センター

会 費: 500 円(資料代)

申し込み:(先着 20 名)

大和市民活動センター

電話 046-260-2586

あなたの団体の情報を発信!

2012 年 8 月下旬、トップページをリニューアルし、
たくさんの情報をトップページから発信できるようになり
ました。

登録団体情報の発信に、特に力を入れています。
情報の写真、チラシなどデータでいただくと幸いです。

トップページの【注目のコーナー】

1. 登録団体情報はここに!

- ★左側 「最新情報」の中段
- ★中央 「FM やまと」「市民活動紹介」
- ★右上 「Pick up」…各団体の広報紙を紹介

2. 「センター」からのお知らせはここに!

- ★左側 「最新情報」の上段

3. おもしろコーナー

- ★中央 「大和市あれこれ」「大銀杏のつぶやき」
大和市内のミニ情報を随時掲載

お得情報

チラシを 1 枚・5 円で配布

イベントのお知らせや仲間集めなど活動団体のチラシ
を登録団体へ送ります。(通称:情報交差点)

A4 サイズに印刷した「チラシ」を 200 枚、ご準備ください。

毎月 1 日発行「あの手この手」に同封します。

1 種類 1,000 円です。

* 封入作業を行う際には、お集まりいただきます。

基本的には発行日の前日=月末です。

日時をご確認ください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「クロネコメール便」の取り次ぎを始めました

「センター」内でメール便取扱店と同額の 1 通当たり
80 円の料金をお支払いください。

メール便シールをお渡しします。

シール貼りを終えたら、「センター」が書類をお預かりし
当日、ヤマト運輸に引き渡します。

広がる高校生ボランティアの輪

柏木学園高校生が活躍中

柏木学園の高校生が、高齢者や児童のデイサービス
施設などで定期的にボランティア活動を行い関係者か
ら感謝されています。3/19(土)に高齢者デイ晃風園
(市内草柳)で行った活動では、柏木高生に誘われた
他の高校の生徒も参加し、ロコミでボランティアの輪が
広がっています。(文とイラスト:拠点やまと 弘中健一)



何色が
いいかな?

きれいな
ぬり絵ね

いつも笑顔で親切に
してくださるのでお年
寄りも大喜びです。

晃風園 今井さん談

若い力大募集! 今年も参加します。

第8回やまと国際交流フェスティバル

日時: 3月17日(日) 10:00~15:00

会場: 大和駅東側プロムナード

主催: (公財)大和市国際化協会

大和市には外国籍の方が約 5,600 名、国数 71 カ国。
国内でも比率の高い自治体です。当日は国際色豊かに
珍しい飲食などが出店。ステージでは民族舞踊など
パフォーマンスも見られます。

大学生・高校生や国際協力活動をしている団体などが
「大和市民活動センター」ブースで
お祭りを盛り上げます。

ユニークなアイデア募集中!





大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。

2013年2月号(第67号)をお届けします。

「少子高齢化」。この 5 文字は毎日のように新聞で目にし、テレビ、ラジオで常に耳に届く言葉です。さながら今の日本の姿を表現するキーワードのようです。

NHK テレビ 1/20 (日) に放送された番組「NHK スペシャル 衝撃 “老人漂流社会”」は、「高齢化」のひとつの深刻な状況を番組名にしたように「衝撃」をもって、映像で伝えられました。

88 歳の高齢者が、先立たれ妻の遺骨を膝にのせ、手首には妻が贈ってくれたという腕時計、この二品のみを財産として身に付け、40 年間住んだアパートを引き払われ、自治体が見つけた施設に車椅子で移動するシーンを追っての映像がありました。この高齢者、大井さんは長くて 1 ヶ月が限度のショートステイ先を 3 ヶ月で 4 つも転々と移動したとか。

番組のなかで、社会保障制度審議会委員の宮本みち子さんは、この大井さんの姿を見て、「心細い寄り添いの無さが表情に現れていますよね」と。

終(つい)の住みかはどこにあるのだろう。高齢者が自らの意志、希望で「死に場所」を決められない現実がこの日本で広がっていることを番組は伝えていました。

「マドリード宣言」というのをご存知でしょうか。スペインの首都マドリードで開催された「第 2 回高齢化に関する世界会議 (2002 年)」での政治宣言のことです。ここに記載されていることを抜き書きします。

- ・1991 年に国連総会が承認した高齢者の自立、参加、ケア、自己実現及び尊厳を定める「高齢者のための国連原則」を再確認する。(第 3 項より)
- ・我々は、高齢者の尊厳に対する認識を高め、かつ、あらゆる形態のネグレクト(放置)、虐待及び暴力を廃絶する決意を表明する。(第 5 項より)
- ・高齢者の潜在能力は、将来の発展の強力な源泉である。(第 10 項より)

「宣言」の中では何度も「高齢者の尊厳」という言葉が遣われています。

先の宮本みち子さんは番組のなかで、「(高齢者が) 心ある人たちに見守ってもらえるという最低限の尊厳すらない」とも話されていました。(次号に続く)

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2013/01/29



イラスト・望月則男